



# だより Vol.92

社会福祉法人 五十鈴会

3つの理念

平成13年10月23日制定

- ◆個人の尊厳を保持した豊かで楽しい生活を
- ◆地域に根ざした拠点施設を
- ◆生活の場としての施設づくりを



## ごあいさつ

施設長 上垣 智彦

猛暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

3度目の緊急事態宣言が終わり、新型コロナウイルスのワクチン接種がだいぶ進んできていますが、まだまだ気が抜けない日々が続いております。五十鈴荘におきましては、特養利用者・職員、訪問看護の職員に関しては2回のワクチンの接種が終了しています。在宅サービスの職員についても、7月より順次開始される予定です。また、高齢者以外の方へのワクチン接種が広がっていくことで、私たちの生活の安心、安全につながればと願います。

さて、令和3年ですが、平成3年3月に開設した五十鈴荘は、令和3年で開設から30年となります。開設当初、そして介護保険制度の創設、ユニットケアの普及と、介護の考え方も大きく変わってきました。それは五十鈴会の理念の一つ『個人の尊厳を保持した豊かで楽しい生活を』につながります。また、病院とは異なり「家」を意識した『生活の場としての施設づくりを』の理念のもと、利用者の生活の継続を考え、創意、工夫をしてきました。そして、超高齢社会となる今『地域に根ざした拠点施設を』と理念にもありますように、住み慣れた地域で最期まで生活することができる一助となるよう、職員一同尽力していきますので、引き続きのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

## お花見



青空と綺麗な桜の下で、美味しいご飯をお腹いっぱい食べて皆さん大満足です。

